

4校に再編

賛成 13

反対 2

で可決

「小学校の再編統合」が注目を集めた第2回定例会を6月10日開会した。5月に行った議会報告会「一般質問で政策議論をした後に、それをもとに議案の審議を」といった声を反映して日程を変更した。このため重要議案の「小学校の再編統合」に関する議案は、最終日の6月23日にこれまでの経過と将来の展望、目指す教育と現況の課題など、まさに白熱した議論のすえ、13対2の賛成多数で可決した。この結果H23年4月から町内4小学校体制へ移行することとなる。

質疑内容

もう少し議論すべき

●矢山 統合がなぜH23年なのか。中学校区で甲山2・世羅1の根拠。

■学校教育課長 1日でも早く教育環境の整備をしたい。本当は甲

H21年第2回定例会

小学校統合に関する質疑で白熱

山も1校が望ましいが、財政的に厳しい。

●安佐 8月の耐震検査結果を待っての提案は。

■町長 長期総合計画により3年間議論してきた。

●仲行 閉校記念式費用と子どもとの地域づくりの財政支援はどうする。

せらにしの例により

■副町長 せらにし小学校の例にならない検討する。自治センターの、ビジョンに沿って助成を行う。

●福田豪 存続校の位置を決めた根拠は。

■学校教育課長 児童数、位置的・地理的に中心にあり、通学対策も距離・時間を総合的に判断した。

どうなる通学バス

●永田 設備が無駄になる具体的説明がある。バス通学補助は5年後も町費で対応可能か。

■学校教育課長 甲山小学校に9教室増設すれば2億円の事業費。

■町長 私が町長である限り無料で行なう。

●中村 将来の統合の為に目的基金の新設は。財政課長 公共施設

整備基金で対応したい。

うまく連携できるか

●徳光 幼保小中高の連携はどこまで想定か。●教育長 せらにし小学校では合同で活動している。研究実施する。

将来に不安

●豊田 子どもよりお金が優先と聞こえる。中央小学校で何年続くか心配だ。

■町長 財源を惜しむものではない。10年の命とかそういう問題ではない。

これからの課題が

山積み

●奥田 通学区が緩和されたが、学区を越えての通学バス措置は。

■教育長 原則は学区の維持だが、今後の検討課題だ。



元気いっぱい 昆虫採集（大田小学校）

世羅町立小学校

世羅町立学校設置条例の変更内容（概要）

町内8の小学校を閉校し

「世羅町立宇津戸・中央・伊尾・東小学校」

位置は中央小学校

「世羅町立大田・大見・西大田・津久志小学校」

位置は大田小学校

の2校に改める。統合後の名称は統合準備委員会にて決定される予定。

この条例は平成23年4月1日から施行する。

甲山・せらにし小学校は現行のまま。

討論

討論とは質疑終結後に自己の意見に反対する者及び賛否を決めていない者を自己の意見に賛同させる目的がある。そのため理由を明確にすることが求められる。

反対討論

矢山

永年の歴史の評価と将来のまちづくりの基礎は、熟慮の余地が多すぎる。

豊田

未解明な点を残したままの強引な統合は急ぐべきではない。

賛成討論

岡田

同年齢の子ども達が切磋琢磨する場が必要。

福田豪

感性を磨く相互研鑽の場が必要。場所づくりは行政の責務。

徳光

少子化のなかで自立心と協調性が育まれる環境の整備が急がれる。

安佐

政治生命を賭ける町長を支持する。

能登

大人数でこそ知恵が育つ。将来さみしい思いをさせてはならない。

学校再編による追加補正予算

賛成13 反対2で可決

追加議案

全ての日程を終え閉会直前、議長から休憩が告げられた。

小学校統合に関する議案を可決したことで統合準備に必要な補正予算を追加日程とすることを全員協議会で了承した。再開した本会議では「遺漏のない執行」を求める質疑の後、賛成多数で可決した。

教育総務費の増額

統合準備委員会は校長を含め35名を選出し、会議を10回予定している。校名は本年度中に、校章・校章旗・校歌・児童の制服、通学バスや施設整備について協議していただく。

児童の交流事業として施設見学や合同での給食などを考えている。



休憩時間、一斉にグラウンドへ（中央小学校）